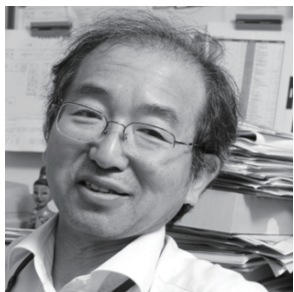


## 講師紹介

1954年生まれ。宇宙物理学。京都大学理学部を経て、同大学大学院理学研究科に学ぶ。愛知教育大助手、助教授、国立天文台助教授を経て、1999年から京都大学大学院理学研究科附属天文台教授。2004年より天文台長。2017年より日本天文学会会長。太陽および宇宙における激しい活動現象、とくに電磁流体力学的な爆発、宇宙ジェットを研究している。



柴田 一成

1957年生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。マックスプランク研究所、ケンブリッジ大学、茨城大学などを経て、現在、京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻教授。研究テーマはブラックホールにまつわる諸現象を、理論モデル、シミュレーション、観測データ解析等を組み合わせて研究している。最近是一般向けの書物執筆やバリアフリー教材づくりにも力を入れる。



嶺重 慎

1979年生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。東京工業大学を経て、現在は京都大学理学研究科物理学・宇宙物理学専攻助教授。専門は惑星科学。「我々はどこから来てどこへ行くのか」そうした究極的な問いに答えるため、理論モデルと数値シミュレーションをもとに、惑星と生命の起源と進化についての研究を行っている。



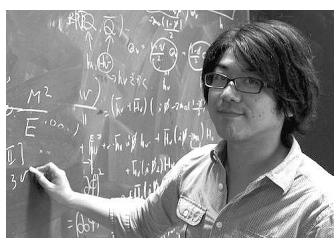
佐々木 貴教

1961年生まれ。京都大学大学院理学研究科宇宙物理学専攻博士後期課程修了。京都大学理学部助手、ハワイ大学天文学研究所客員研究員などを経て、現在は京都大学理学研究科物理学・宇宙物理学専攻教授。研究テーマは、銀河の形成・進化に関する観測的研究。活動銀河核進化と銀河進化の関係。これらに関連したガンマ線バーストの研究や重力波天体の探査など。



太田 耕司

1976年生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。東京大学総合文化研究科、マックスプランク研究所、東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構を経て、現在は京都大学理学研究科物理学・宇宙物理学専攻准教授。恒星進化、および超新星爆発をはじめとする爆発天体現象を、理論・観測両面から研究している。



前田 啓一

1957年生まれ。1985年京都大学大学院理学研究科博士課程修了、同年ハワイ大学天文学研究所ポスドク、1988年京都大学理学部助手、1995年名古屋大学理学部助教授を経て、2004年より京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻教授。専門は赤外線天文学。銀河系中心部の星形成や、星間空間の固体微粒子に興味を持っている。



長田 哲也

1983年生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。スタンフォード大学、NASAゴダード宇宙飛行センターなどを経て、2015年より京都大学白眉センター(宇宙物理学教室)特定准教授。専門はX線天文学。中性子星などの天体現象を研究している。宇宙観測の他に、雷雲や雷からの高エネルギー大気現象の観測も行っている。



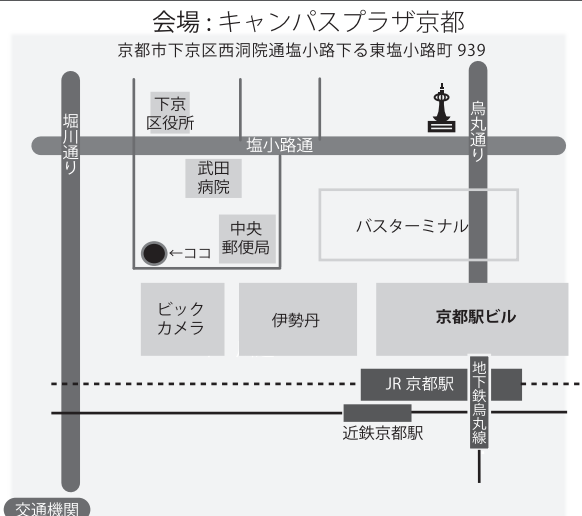
榎戸 輝揚

1981年生まれ。京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻博士後期課程修了。高エネルギー加速器研究機構、ヘブライ大学、東京大学などを経て、現在は京都大学白眉センター特定准教授。専門はブラックホール降着円盤やガンマ線バースト、宇宙線など高エネルギー天体現象の理論的研究。



川中 宣太

## 会場地図



京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。京都駅から徒歩5分。

## 金曜天文講話

京都花山天文台の将来を考える会

Eメール: [info@kwasan.kyoto](mailto:info@kwasan.kyoto)

ホームページ: <http://www.kwasan.kyoto/>